

2026年8月7日
株式会社すむたす

**【実家じまいに関する意識調査 第3弾】話し合い実施率は29.5%で前回から低下。「大相続時代」でも家族の会話は進まず
～親は「必要性を感じていない」、子は「きっかけがない」「何から話せばいいかわからない」と、理由に温度差～**

AI 査定で最短1時間でマンション売却価格がわかり、最短2日で現金化できる「すむたす売却」を提供する株式会社すむたす(本社:東京都中央区、代表取締役:角 高広、以下「すむたす」)は、実家の処分に関する意識調査を、親世代・子世代それぞれに対し実施しました。2025年7月・12月に続き3回目の調査となる今回は、これまで扱ってこなかった兄弟姉妹間の意見調整・対立の実態にも焦点を当てました。



【調査背景:「大相続時代」の到来】

団塊の世代全員が後期高齢者となった「2025年問題」を経て、相続や実家の処分は多くの家族にとって喫緊の課題となっています。すむたすがこれまで実施した2回の調査では、実家の処分について「親子間で話し合ったことがある」と回答した人は3割程度にとどまり、会話不足の実態が明らかになりました。

一方で、相続や実家じまいにおいては、親子間だけでなく、兄弟姉妹間の意見の食い違いが障壁になるケースも少なくありません。そこで今回は、過去調査と同様の項目に加え、兄弟姉妹がいる子世代を対象に、実家の処分方針をめぐる意見調整・対立の実態についても調査しました。

【実家じまいに関する家族間コミュニケーション実態調査】

■ 調査結果サマリー

- (1)親子間で実家の処分について話し合ったことが「ある」人は29.5%（前回32.5%）。話し合わない理由は引き続き「まだ具体的に考えていない」がトップ
- (2)実家の処分方針について兄弟姉妹と「話し合ったことがある」人は20.0%。そのうち、「意見が割れた・対立した経験がある」人は40.0%。対立内容トップは「売却か、残すかの方針」、次いで「管理」
- (3)希望処分方法は親子ともに「売却」がトップ。「子どもや親族に住んでほしい」と考えている親は24.0%の一方、「自身が住みたい」子は18.0%
- (4)子が親に事前準備してほしいことのトップは「不要品の整理・処分(35.0%)」。親が子に協力してほしいことも「不要品の整理(20.0%)」がトップ

■ 調査概要

実家じまいに関する家族間コミュニケーション実態調査

・調査方法：インターネットによる全国調査

・調査期間：2026年7月21日～7月22日

・調査対象：

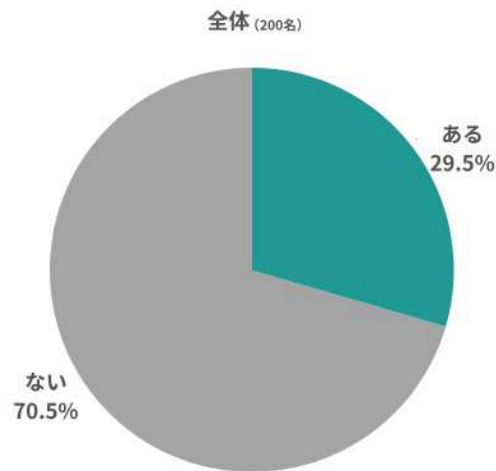
- ①親世代 60歳～89歳、子どもあり、持ち家、子どもと別居状態の男女100名
- ②子世代 30歳～59歳、両親の少なくとも一方が存命しており別居状態、存命の兄弟・姉妹がいる男女100名

■ 調査結果詳細

(1)親子間で実家の処分について話し合ったことが「ある」人は**29.5%**（前回**32.5%**）。話し合わない理由は引き続き「まだ具体的に考えていない」がトップ
実家の処分について、全体の70.5%が「会話しなかった」と回答。会話経験者は前回調査からやや減っています。理由は親子ともに「まだ具体的に考えていないから」がトップ。
親世代では「話し合う必要性を感じていなかった(25.7%)」が多かった一方、子世代では「話しを切り出すきっかけがなかった(28.2%)」「何から話してよいか分からない(19.7%)」と、必要性を感じながら話し合いを開始できないでいる方が親世代と比較しやや多い傾向が見られました。
実家じまいについては、引き続き親世代からも話し合いの機会を設ける必要性が伺えます。
また、話し合いをした家庭における話題の中心は、引き続き「自身／親が逝去後の住まいの処分について(52.5%)」が最多で、次いで「自身／親が存命の間の住まいについて(49.1%)」となっ

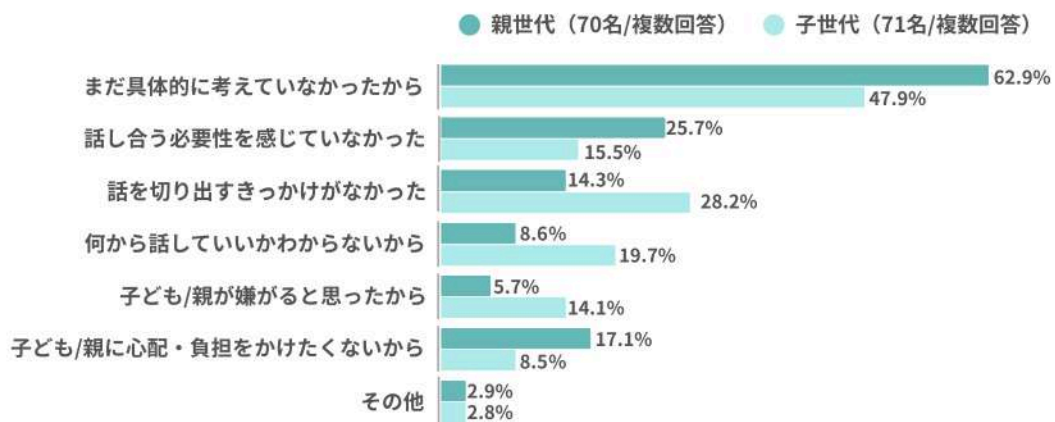
ています。

Q.自身の住まいの今後／実家の処分について親子間で話し合ったことはありますか？



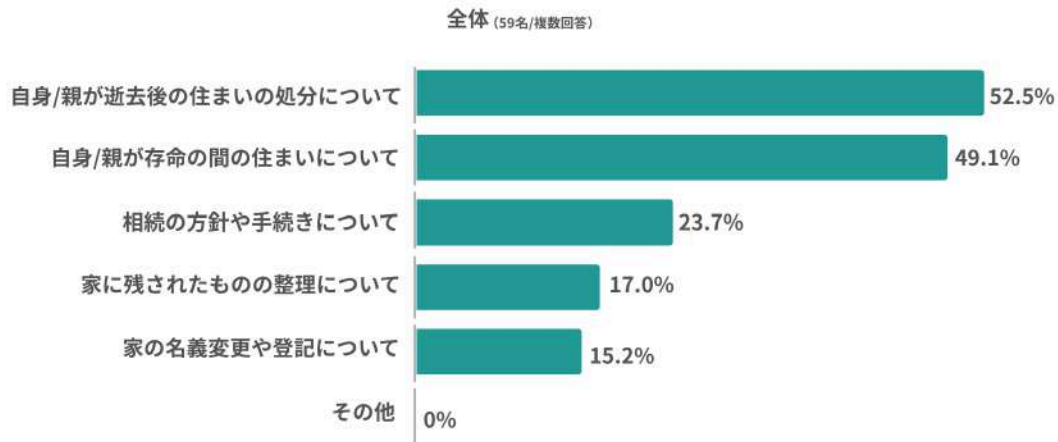
すむたす

Q.（話し合いをしていない方）これまで話し合ったことがない理由があれば教えてください



すむたす

Q.（話し合いをした方）これまで具体的にどんな内容について話をしましたか？



すむたす

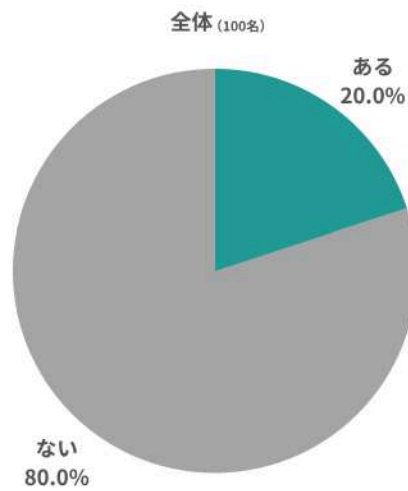
（2）実家の処分方針について兄弟姉妹と「話し合ったことがある」人は**20.0%**。そのうち、「意見が割れた・対立した経験がある」人は**40.0%**。対立内容トップは「売却か、残すかの方針」、次いで「管理」

実家の処分方針について兄弟姉妹と話し合ったことが「ある」と回答した子世代は20.0%と、親子間と比較してより低い結果となりました。さらに兄弟姉妹と話し合ったことがある人のうち、実家の処分方針をめぐって意見が割れた・対立した経験が「ある」と回答した人は40.0%にのぼりました。

親子間の会話不足に加えて、兄弟姉妹間の意見調整も実家じまいを進める上でのハードルになっている実態がうかがえます。

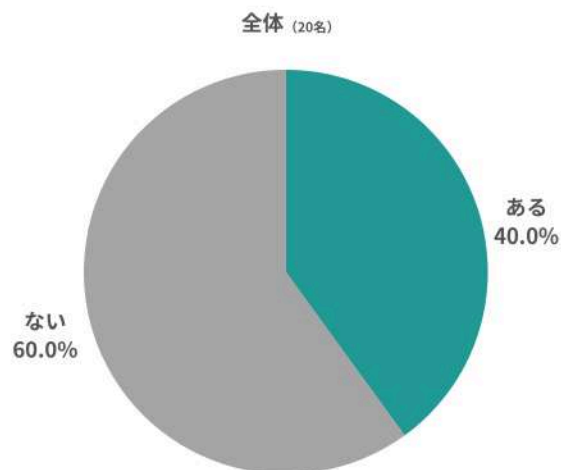
回答者は8名と少ないですが、意見が割れた・対立した内容としては「売却するか、残す（維持するか）（62.5%）」、「誰が管理・対応するか（50.0%）」が上位となりました。「費用負担（片付け・修繕・解体費用など）（37.5%）」、「遺品・形見の分配（37.5%）」、「実家に住む／住まないの希望（12.5%）」も一定数見られ、金銭的な負担と役割分担の両面が対立の要因になっていることがわかります。

Q.実家の処分について兄弟・姉妹間で話し合ったことはありますか？



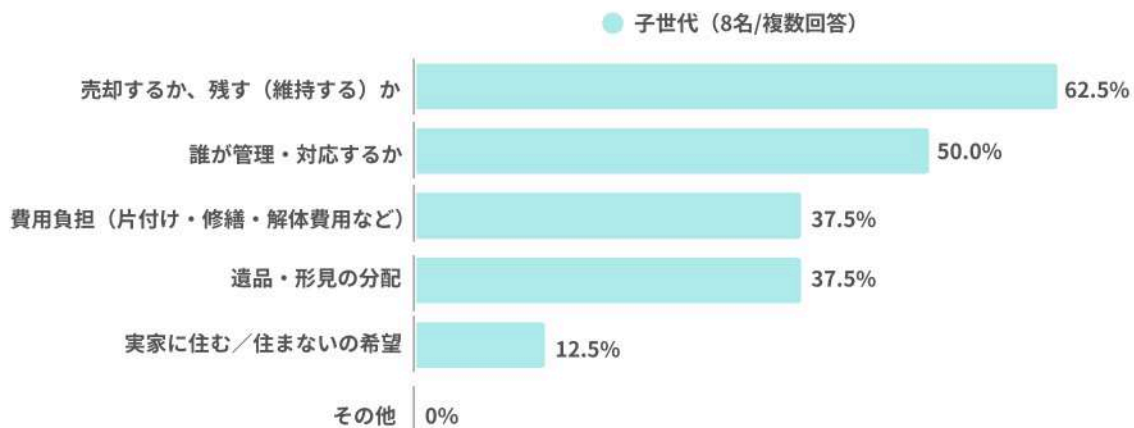
すむたす

Q.実家の処分方針をめぐって、兄弟・姉妹の間に意見が割れた・対立した経験はありますか



すむたす

Q.意見が割れた・対立した内容として、あてはまるものを教えてください



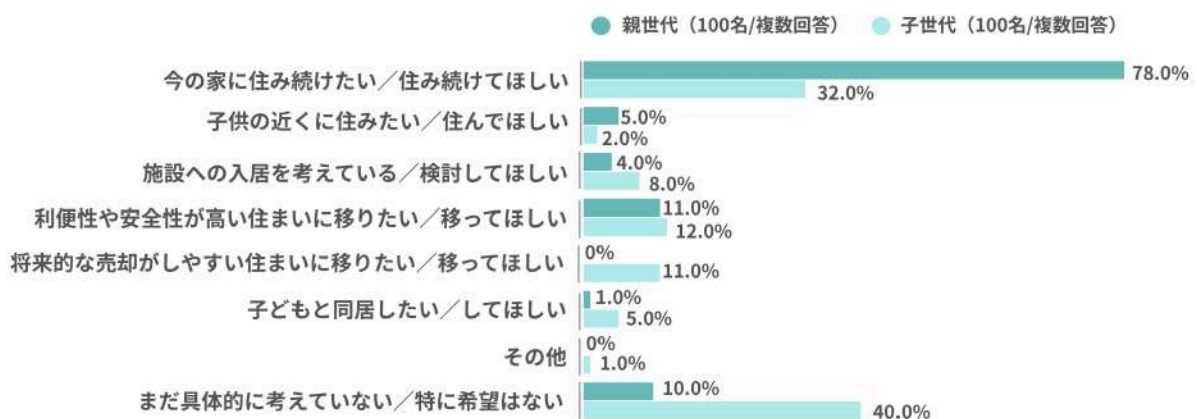
すむたす

（3）希望処分方法は親子ともに「売却」がトップ。「子どもや親族に住んでほしい」と考えている親は**24.0%**の一方、「自身が住みたい」子は**18.0%**

今後の住まいについて、親世代の78.0%が「今の家に住み続けたい」と回答。子世代の32.0%が「今の家に住み続けてほしい」、40.0%が「まだ考えていない／特に希望はない」とする一方で、12.0%が「利便性や安全性が高い住まいへ移ってほしい」、11.0%が「将来的な売却がしやすい住まいに移ってほしい」などの希望を持っています。

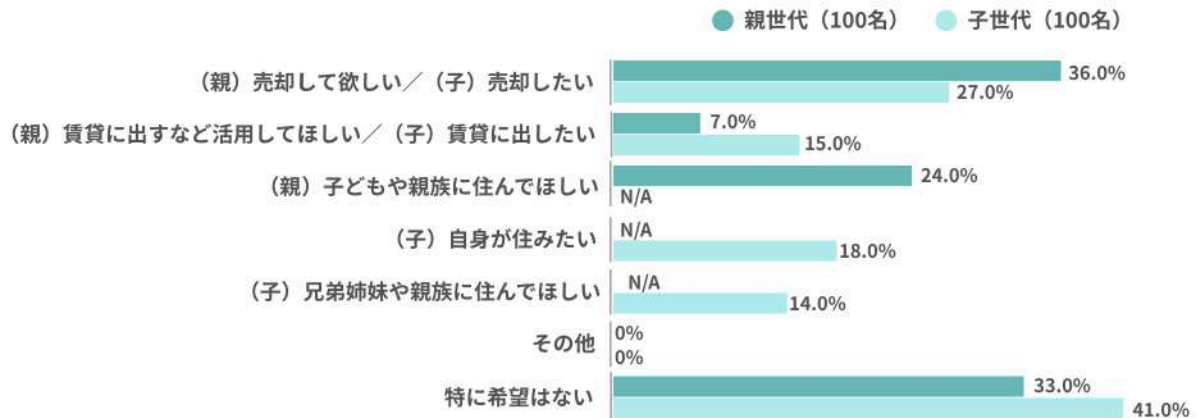
親世代が逝去後の住まいの処分方法については親世代・子世代共に「売却」がトップだったものの、親世代の24.0%が「子どもや親族に住んでほしい」と回答。一方子世代の回答は「自身が住みたい（18.0%）」、「兄弟姉妹や親族に住んでほしい（14.0%）」と、親子間でのギャップが見受けられる結果となりました。

Q.ご自身／ご両親が存命の間の住まいの希望



すむたす

Q.ご自身／ご両親が不在となった後の住まいについての希望

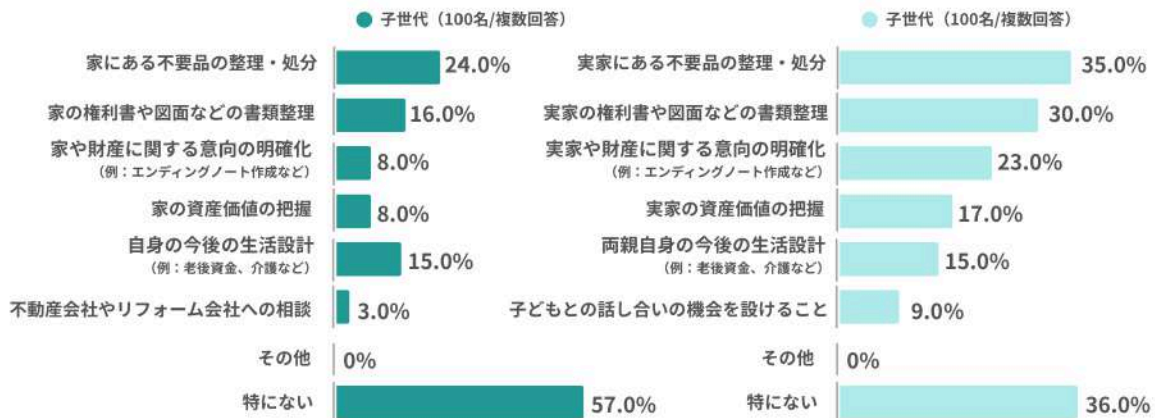


すむたす

（4）子が親に事前準備してほしいことのトップは「不要品の整理・処分（35.0%）」。親が子に協力してほしいことも「不要品の整理（20.0%）」がトップ

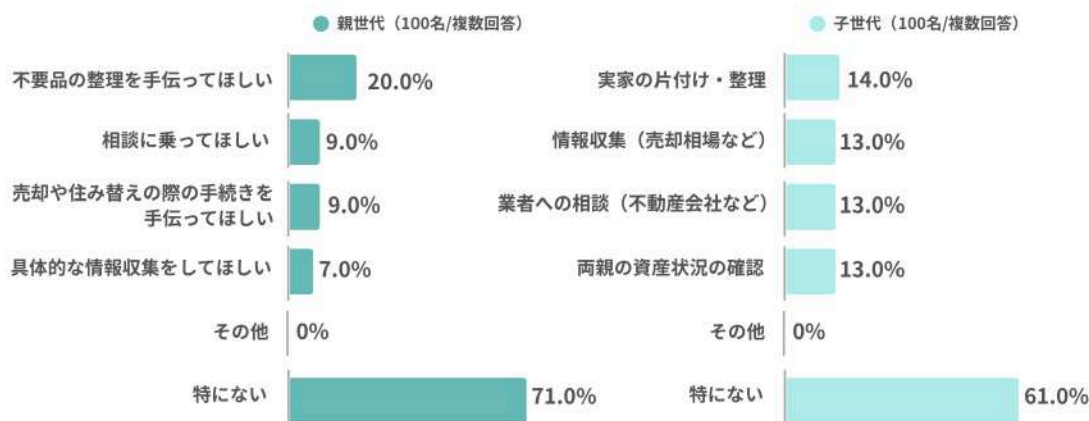
実家の処分に向けては、親世代の約43.0%、子世代の約39.0%が何らかの準備を始めています。準備について双方への希望は、子から親が「不要品の整理・処分（35.0%）」、親から子に関しても「不要品の整理を手伝ってほしい（20.0%）」でそれぞれトップとなりました。

Q.ご自身の住まいについて具体的に進めている準備／実家の処分について、ご両親に準備しておいてほしいこと



すむたす

Q.お子さんに、ご自身の今後の住まいに関して協力してほしいこと／実家の処分について具体的に進めていること



すむたす

【「実家じまいのやることリスト」＆「実家じまい体験談」を公開】

経験者や専門家の多くが「事前準備が大事」と口を揃える一方、生前に会話をするのが難しい「家じまい・実家じまい」というテーマ。準備を始めの一助としていただきたく、相続案件の対応実績を多数持つ司法書士・久保慶介氏監修のもと、当社が過去取り扱ってきた「実家じまい」案件を踏まえ、「実家じまい」において必要になる準備や手続きの概要をまとめた「実家じまいのやることリスト」を公開しています。「実家じまい」経験者へのインタビュー記事と合わせ、全5ページの資料として公開します。



本資料は、以下URLよりどなたでもダウンロードいただけます。お盆の帰省のお供に、ぜひご利用ください。

ダウンロードはこちら：

<https://prtimes.jp/a/?f=d38198-52-dd3b2968fb858e5e8c8d7878007735ab.pdf>

【すむたすができること】

すむたすは「住まいの理想的な選択ができる社会」の実現を目指し、いつでも好きなタイミングで、適切な価格で、余計な中間コストがない、透明性の高い取引を提供する不動産テックスターアップです。

当社が提供する「すむたす売却 (<https://sumutasu.jp/>) 」では、無料でマンション売却価格の査定が可能。最短1時間で、実際の買取価格を提示しています。「まずは価格だけ把握しておきたい」という方のご利用も多く、家じまい方針を検討する材料の一つとしてご利用いただけます。また、当社では自社直接買取により、以下の対応が可能です。

- ・内見対応不要、最短2日で現金化
- ・室内状態不問、散らかっていても荷物が多くてもOK
- ・査定～決済までオンライン対応可能、遠方在住でもOK
- ・不要品は置いたままでOK、無料で処分
- ・司法書士や税理士と連携し、法的な手続きをサポート

相続案件も多数実績がございます。「まだ売るかどうかが決めていない」という方も、オンラインでご相談いただけます。

【参考資料】

- ・「Sumutasu MAGAZINE」相続関連お役立ち記事

当社のWebメディア「Sumutasu MAGAZINE」では、相続に関するお役立ち記事も複数配信しております。合わせてご覧ください。

Sumutasu MAGAZINE 相続関連記事：<https://sumutasu.jp/mag/category/inheritance/>

- ・過去の相続関連調査

2024年8月	半数以上が「後悔」。実家じまい経験者調査、事前にしておくべきだったことトップ3は1位 処分費の確認、2位 親と一緒に片付け、3位 売却価格の確認	https://sumutasu.co.jp/posts/_RvPeXR5
2024年12月	【家じまいの意向調査】60代以上の約7割が家じまい方針について「子どもや親族と話せていない」が、「伝えておきたいことがある」	https://sumutasu.co.jp/posts/ljB7lorc
2025年3月	【相続登記義務化の認知度調査】施行から1年、相続未経験者の認知度は3割未満。相続経験者の3割が「登記期限3年」を「短い」と回答	https://sumutasu.co.jp/posts/rDnOUwA7

2025年7月	【実家じまいに関する親子間コミュニケーション調査】7割以上が『話し合ったことがない』と回答。理由は「まだ具体的に考えていない」が最多	https://sumutasu.co.jp/posts/SBo34Kpx
2025年12月	【実家じまいに関する意識調査】話し合いの実施率は32.5%と前回比較微増も、親子間で温度差が明確に	https://sumutasu.co.jp/posts/dO6YrZ

【すむたすのサービスについて】

■ すむたす売却

AI査定などのテクノロジーを活用した新しいマンション売却サービス。

オンラインで最短1時間で売却価格がわかり、最短2日後から好きなタイミングで確実に現金化できます。

これまで多くのお客様から「無料で気軽に査定でき、好きなタイミングでストレスなく売却できる」とご好評をいただいております。

サービスURL: <https://sumutasu.jp/>

■ すむたす直販

リノベーションマンションが仲介手数料ゼロで買えるポータルサイト。

仲介会社を介さずに自分で探して、余計なコストをかけずにお得に購入できます。

サービスURL: <https://sumutasu.jp/buy>

【株式会社すむたす 会社概要】

- ・会社名 : 株式会社すむたす
- ・代表者 : 代表取締役 角 高広
- ・所在地 : 東京都中央区日本橋3丁目9-1 日本橋三丁目スクエア2階
- ・設立 : 2018年1月
- ・事業内容 : テクノロジーを活用した不動産買取再販・不動産仲介事業
- ・URL : <https://sumutasu.co.jp/>

【本サービスおよび、本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

- ・お問い合わせ先 : 株式会社すむたす 広報窓口
- ・Tel : 050-5785-2977
- ・E-Mail : pr@sumutasu.co.jp